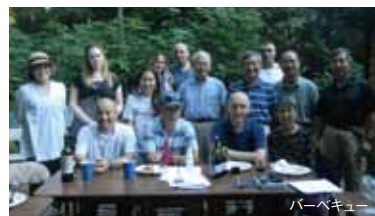


## シアトル稲門会について

1988年3月に早稲田大学ハイ・ソサエティ・オーケストラがアメリカ演奏旅行の途上シアトルを訪問し、当地の早稲田大学卒業生有志十数名は、急遽歓迎委員会を結成し、歓迎会を催しました。この歓迎会を契機にシアトル稲門会が結成されました。

以来、新年会や夏のバーベキューなど定期的な行事を開催して、会員間の親睦を図っています。現在の会員は大まかに区分して、当地に永住する会員、企業の駐在派遣の会員、留学のために短期滞在する会員で構成されており、境遇の異なる会員間の相互親睦を図るための工夫が以前にも増して重要になってきています。また、早稲田と永遠のライバルである慶應義塾大学同窓会の三田会とも友好的な関係を築いており、早慶親睦ゴルフ等のイベントを開催し、三田会との親睦を図っています。2012年は5年ぶりに合同新年会を開催しました。

About



バーベキュー



早慶合同新年会

## シアトルの魅力

Charm



スペースニードルとレーニア山

美しい海と緑に囲まれ、スキー、カヤック、ハイキング、ゴルフとさまざまな野外活動を楽しめ、食においてはシーフード、ワイン、果物などの産物に恵まれております。日本、中国、韓国、インドなどからの移住者も多いため、アジア文化の影響を受けており、同時にアジアに対する理解度も高いクロスカルチャルな都市です。

石原 誠(幹事長、1987年法学)

現在イチローに加え、岩隈、川崎が所属するマリナーズの本拠地シアトルは、米国西海岸北部にあり、カナダのバンクーバー(北側)とポートランド(南側)の中間に位置し、景観の美しさから「エメラルドシティ」と呼ばれております。樺太とはほぼ同じ緯度ですが、暖流の影響で気候は温暖です。冬期は雨が多いものの、夏は日本の梅雨とは別世界の爽快な気候をエンジョイできることが魅力です。

マイクロソフト、グーグル、アマゾン、ボーイング、そしてコーヒーのスターバックスなど、時代の先端を行く企業が誕生してきたシアトルは、校歌にある「進取の精神」を具現してきた都市の一つです。

## 会長メッセージ

シアトルは自然に恵まれ、アウトドア活動が生活の一部になっています。また、日本といちばん近い米国の都市でもあり、日米の文化が融合する地になってきました。

会員数は、留学中の学生会員9名、特別会員(元当会会員で帰国後も登録を希望する会員等)6名を含め48名です。2012年の新年会では、思いがけず多くの留学中の学生の参加がありま

した。従来、シアトル稲門会は卒業生間の親睦を主としていましたが、今後は留学のため滞在する学生会員の受け入れや、その後の生活支援も活動の一部としていきたいと思ひます。

また、会員間の情報交換や新規会員の勧誘を目的にFacebookページ(欄外をご参照ください)も立ち上げていますので、奮ってご参加ください。

隠岐潤治(1972年理工)

## 会員からのメッセージ

●日本からいちばん近いアメリカ本土の都市、直行便のあるシアトル。

スポーツが好きなアウトドアな人にとって、シアトルは天国かもしれません。海と山に挟まれ、至る所に緑豊かな公園があります。夏は近場でお安くゴルフ、テニス、そして釣りなどのマリンスポーツ。冬は車で1時間も走ればスキー場。大リーグマリナーズをはじめ、浦和レッズ並みの人気を誇るサッカーのサウンダーズやアメフトのシーホークスといったスポーツ観戦も。スポーツのあとはもちろん、おいしいシーフードとビールやワインで!シアトル最高!

矢部光輔(1995年商学)

●2011年からワシントン大学教育大学院で勉強しています。実は学部時代にも、この大学に留学していたのですが、シアトルの魅力に取り憑かれ、卒業後にまた戻ってきてしまいました。

シアトルは親切な人が多いです。英語もろくにわからない私を支えてくれる人たちに囲まれているおかげで、快適に生活しています。稲門会には最近入ったばかりですが、やはりいい人たちばかりで心の拠り所となっています。異国の地で繋がり合える不思議さと一層強い絆を感じます。早稲田大学に感謝しています。

宇梶 咲(2011年国際教養)



ワシントン大学の桜

## シアトル稲門会の人びと

People

●シアトル郊外の稲門会メンバーの家の庭で焚き火を囲みながら、大きな声での「都の西北」斉唱が稲門会のよい思い出になっております。幹事長を務めた時期に創立125周年を記念して早慶合同の新年会を開催したり、記念事業への募金で大隈講堂内の銘板にシアトル稲門会の名前が入ったことなど、思い出は尽きません。さらに、『早稲田学報』への投稿も2007年にさせていただきました。5年後に再度、シアトル稲門会が掲載となり、感謝しております。

雨宮敏徳(元幹事長、1978年商学、2003-2009年在住)

●シアトルに来てはや12年。今は11歳と8歳の子ども、主人と犬1匹と生活をしています。

家族との時間をとても大事にするアメリカにならい、主人も朝早く出勤し、夜は7時には帰宅し家族で食事。また、子どもたちも日本語補習校以外は塾などに通わせていません。夏はロッククライミングやキャンプ、カヤック、冬にはスキーなどシアトル近郊の自然を家族で満喫しています。家族、夫婦での時間を大切にしているおかげで、子育ても夫婦と子どもたちとの関係が近く、気持ちも時間もゆったりとした生活を過ごしています。

倉石彩乃(1991年文学)



クラスメートとの夕食会

●2009年にワシントン大学ロースクール(JDプログラム)で勉強するためにシアトルに来て以来、稲門会に参加させていただいています。稲門会に参加して気がついたのは、稲門会はまさに早稲田の縮小版だということです。ここでは年配の方々から、早稲田から留学している現役の学生まで、老若男女が集い、世代を超えた交流が行われています。

異国の地で始まった留学生活では、先が見えてなくて不安になることもありましたが、先輩方も同じような経験を海外でしてきたのだと知り、大きな勇気を得ました。これからも、ここで築いた関係を大切にしていきたいです。

安間賢治(2008年国際教養)

安間賢治(2008年国際教養)



USA



マリナーズ戦観戦